

本基金は、品行方正・成績優秀かつ勉学の意欲に富んだ大学院生でありながら、経済的理由により修学困難な者に対して奨学援助を行い、幅広い教養と倫理観をもった、人間性豊かな、将来の日本に役立つ人材を育成することを目的としています。
採択にあたっては、経済的状況のみならず、修学意欲・研究の将来性・実績等を総合的に審査します。

1. 応募できる者

関東・東海・中国・四国・九州・沖縄地区にある大学院において文学、哲学(宗教学、美学、美術史を含む)、言語学、人文地理学、文化人類学、教育学、心理学、社会学、史学等(経・法を除く人文社会)を学ぶ、平成31年4月修士課程(博士前期課程)及び博士課程(博士後期課程)入学の学生(留学生を除く)で、次の各号に該当すると認められる者。

(1) 就学上奨学金の援助を必要とする者。

修士課程の応募者：家族の生計を支える者の前年度年収が原則800万円(税込総収入)以下とする(本人が独立生計の場合も同様)。

博士課程の応募者：本人の前年度年収が原則250万円(税込総収入)以下とする。

(2) 原則として他の奨学金(日本学生支援機構等の貸与型も含む)を受給していない者。(他の奨学金との併願は可とするが、当基金で採択されたときはどちらか1つを選択のこと)

(3) 品行方正、健康で学業成績が優秀な者。

(4) 年齢(平成31年4月1日現在)が30歳以下の者。

2. 奨学金等

(1) 奨学金の額は、年額 1,000,000円とする。

(2) 奨学金の給付期間は、3ヵ年以内(最短修業年限)とする。

修士課程(博士前期課程) 1年～2年

博士課程(博士後期課程) 1年～3年

(3) 毎年度、継続審査があり、次年度以降の給付は審査結果による。

(4) 次年度以降、他の奨学金(日本学生支援機構等の貸与型も含む)に採用された場合はどちらか1つを選択すること。

(5) 奨学金は、原則6月及び11月の一定日に各6ヵ月分を給付する。

(6) 奨学金の給付方法は、奨学生が当基金に届け出た銀行口座に振り込む。

3. 本年度採用予定人数

10名程度

4. 応募の手続き

奨学生に応募する者は、次に掲げる申請書類を、在学する大学の担当部署を経て平成31年4月30日(火)迄に当基金に提出する。(必着)

大学は、学内選考のうえ修士課程1名以内・博士課程1名以内を推薦して下さい。

(1) 奨学生願書(様式 1)

(2) 奨学生推薦書(様式 2・推薦者によるもの)

(3) 進学のと具体的な研究計画(様式 3：A4用紙2枚以内)

(4) 成績証明書等

・修士課程1年

①学部卒業論文要旨(800字程度) ②学部卒業時の成績証明書

学部卒業論文のない応募者は卒業論文に代わるもの(研究内容要旨等)

・博士課程1年

①研究業績リスト(学会発表等を含む、様式は自由) ②修士課程2年間の成績証明書

(5) 所得を証明できる書類等

- ・修士課程1年 ①家族の生計を支える者の源泉徴収票(写)又は所得証明書等
- ・博士課程1年 ①本人の源泉徴収票(写)又は所得証明書等

5. 選考及び決定

当基金は、4.により応募のあった者につき、当基金に設けた運営委員会に諮り、奨学生を6月末日までに決定し、在学する大学の担当部署を経て、本人に通知する。

6. 学業成績の報告

奨学生は、毎学年終了後、在学する大学の担当部署を経て、学業成績証明書、研究報告書を当基金に提出しなければならない。

7. 異動届出

奨学生は、次に該当する場合は、在学する大学の担当部署を経て直ちに当基金に届け出なければならない。

- (1) 疾病その他の事故又は個人的事情により1ヶ月以上大学院を欠席するとき。
- (2) 休学、復学、転学、転研究科、転専攻又は退学しようとするとき。
- (3) 本人の住所又は奨学金振込銀行等その他重要な事項に変更があったとき。

8. 奨学金の打ち切り

奨学生に、つぎの各号の中の一に該当する事項が生じたときは、奨学金の給付を打ち切ることがある。

- (1) 傷害、疾病などのため就学の見込みがなくなったとき。
- (2) 停学、退学等の処分を受けたとき。
- (3) 学業成績又は素行が不良となったとき。
- (4) 奨学金を必要としない事由が生じたとき。
(他の奨学金を受給することとなったとき及び就職したとき等)
- (5) 自主退学したとき。
- (6) 関東・東海・中国・四国・九州・沖縄地区にある大学院において文学、哲学(宗教学、美学、美術史を含む)、言語学、人文地理学、文化人類学、教育学、心理学、社会学、史学等(経法を除く人文社会)以外の研究科に転研究科又は転専攻したとき。
- (7) 虚偽の申請をしたとき。
- (8) その他奨学生として適当でない事由が生じたとき。

9. 奨学金に対する義務

この奨学金は返還の義務はない。ただし、虚偽の申請等重大なる不正行為があったときは、奨学金の一部又は全額の返還を求めることがある。

10. 関係書類の提出先及び照会先

<公益信託松尾金藏記念奨学基金事務局>

〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5

三菱UFJ信託銀行リテール受託業務部 公益信託課 松尾金藏記念奨学基金担当

電話: 0120-622372 (フリーダイヤル)

(受付時間 平日9:00~17:00 土・日・祝日等を除く)

koueki_post@tr.mufg.jp (メール件名には基金名を必ずご記入下さい)

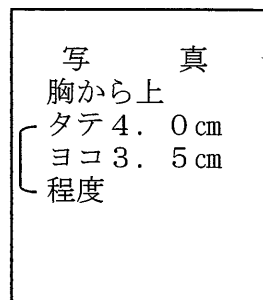
申請書は三菱UFJ信託銀行HPに掲載されております。

URL: https://www.tr.mufg.jp/shisan/kouekishintaku_list.html

公益信託 松尾金藏記念奨学基金奨学生願書

記入上の注意

- 1. 楷書で記入すること。
- 2. 数字はアラビア数字を用いること。
- 3. 固有名詞は、すべて正式な名称とし、省略しないこと。



- (ふりがな)
1. 氏名 (自署) _____ (男 ・ 女)
2. 生年月日 _____ 年齢 (歳) _____
3. 大学名・研究科等 _____ 大学 (修士・博士) _____ 年次 _____
- _____ 研究科 _____ 専攻 入学年月 _____ 年 月 入学
4. 現住所 〒 (_____) _____
- TEL _____

5. 最終学歴

学 校 名	所在地 (都道府県名)	卒業年	専攻科目	学位 (資格)

6. 職歴

勤務先名	所在地 (都道府県名)	勤務期間 (年月～年月)

7. 家族状況

氏 名	続柄	年齢	職業	住 所	前年度の年収又は本年度の見込

8. 本人の年収（博士課程の応募者のみ）

所得の種類

年収（税込）

9. 親との同居・非同居の別

(1) 同居 自宅 ・ 賃貸

(2) 非同居 寮 ・ 賃貸 ・ 持家 ・ その他()

10. 本年度奨学金併願状況

(有と記入した者はカッコのなかに奨学金名、年間受給額を記入のこと)

当年度併願申請 有 無 ()

11. 奨学金を希望する理由

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、公益信託 松尾金藏記念奨学基金奨学生募集要項に記載された内容を十分に理解し、奨学生として採用願いたく申請します。

また、この応募書類および添付した資料に記載されている事項は、奨学金の支給対象者の選考等、当公益信託の運営に必要な範囲で、当公益信託の運営委員・信託管理人・委託者が取得・利用すること、また支給が決定した場合は、氏名、学校等の情報が主務官庁へ提供されることについて同意します。

公益信託 松尾金藏記念奨学基金 御中

平成 年 月 日

申請者氏名

印

受託者は、個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第57号）に基づき、申請者の個人情報を公益信託業務を遂行するために必要な範囲内に限定して利用致します。

公益信託 松尾金藏記念奨学基金奨学生推薦書

氏 名	フリガナ (男・女)
生 年 月 日	年 月 日 (歳)
大学名・研究科等	大学 (修士・博士) 年 研究科 専攻 年 月入学
推 薦 理 由 (面接評価を含む) ※なるべく具体的に お書き下さい。	

※推薦書は全て推薦者をご記入下さい。

平成 年 月 日

大 学 名

推 薦 者 役 職

推 薦 者 名

印

進学の目的と具体的な研究計画

(2 ページ以内)

日付 _____

大学 _____

氏名 _____

1. 進学

の目的 (400 字程度)

--

2. 具体的な研究計画

研究課題 (30 文字以内)

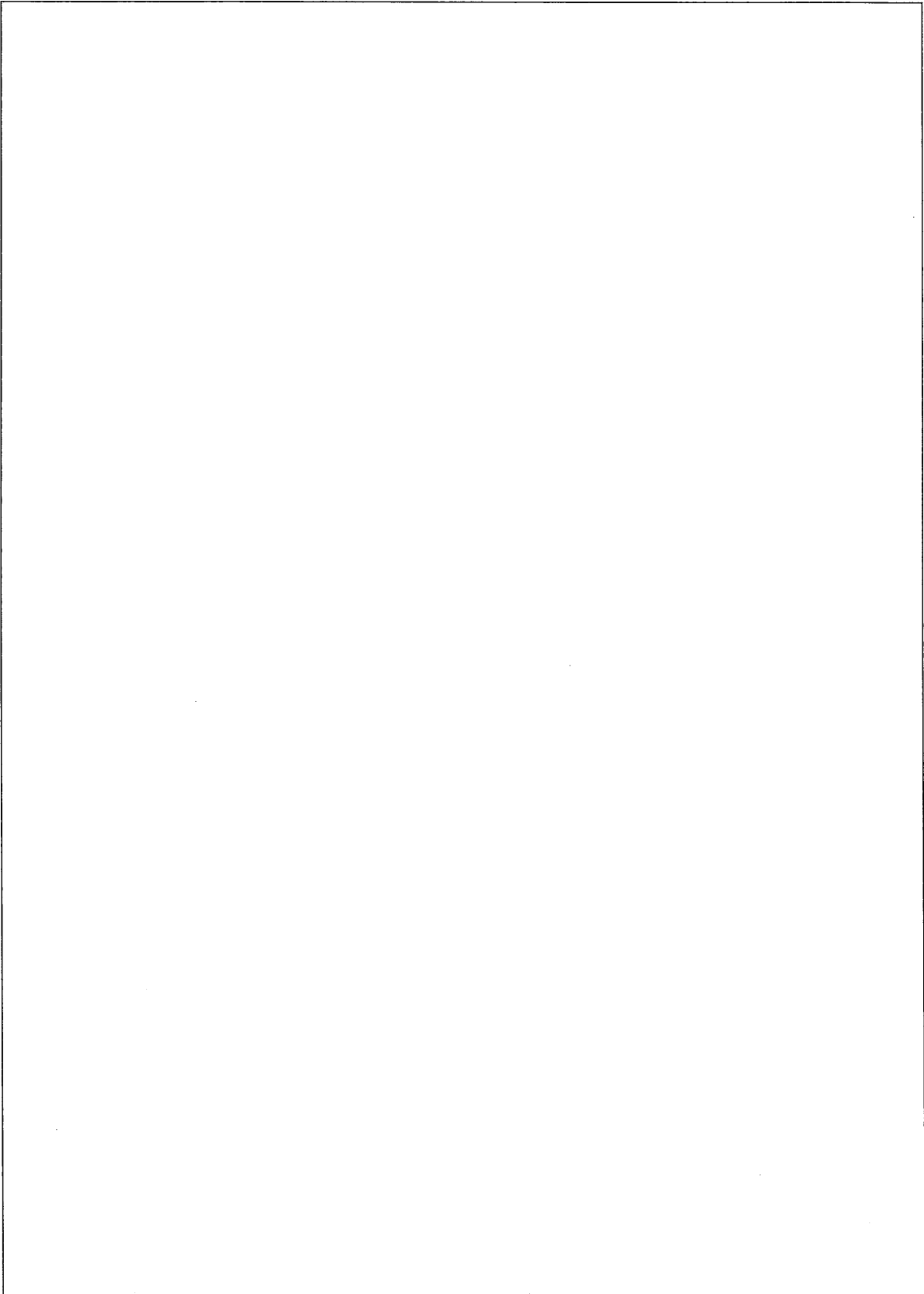
--

研究計画

--

進学の目的と具体的な研究計画

(2 ページ以内)



家 庭 調 査 書

申 請 者	所属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____									
	学籍番号	_____			性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)			
	フリガナ	_____									
	氏名	_____					家族住所	〒 _____ TEL (_____)			
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏名	年齢	職業	在職期間	勤務先名称	給与所得の収入金額 (税込)	給与所得以外の所得金額		
		父				年		万円	万円		
	母					年		万円	万円		
	父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)										
	主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)										
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
	別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏名	年齢	学校名	設置者別	学校種別	通学別	控除額	
本人					筑波大学	国立		※自宅 自宅外	万円		
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自宅 自宅外	万円			
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自宅 自宅外	万円			
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自宅 自宅外	万円			
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無								
	障害者がいる世帯		※有・無	続柄 ()	氏名 ()	手帳番号 ()	万円				
	その他										
本 人 の 状 況	家庭からの給付	月額 (千円)					認 定				
	アルバイト	月額 (千円)	内容 (_____)				総収入金額	①	万円		
	奨学金	受給中	月額 (千円)	団体名 (_____)				必要経費	②	万円	
		申請中	月額 (千円)	団体名 (_____)				特別控除額	③	万円	
その他の収入	月額 (千円)	内容 (_____)				総所得金額	④=①-②-③	万円			
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤	万円
	修得単位数または科目数							家計充足率	⑥=④÷⑤×100		

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。